

# 第29回ペプチドフォーラム



## 『ペプチドが拓くタンパク質・生体分子の階層世界 — 生体機能から創薬まで —』

日時：令和8年3月7日（土）（10：00-15：00）

会場：北海道大学 理学部 7号館7-310室

〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目

主催：日本ペプチド学会 共催：日本生化学会北海道支部  
Biological Chemistry Symposium 2026

オーガナイザー：

中馬 吉郎（新潟大学），鎌田 瑠泉（長崎大学），中川 夏美（北海道大学）

ペプチドは、生命現象を理解するための最小機能単位であると同時に、集合化や多量化を通じてタンパク質や生体分子へと階層的に機能を拡張する基盤分子である。本フォーラムでは、ペプチドの構造・機能・多量化現象における生体分子の階層性の成り立ちから、新規画像解析、機能性材料から創薬への応用まで幅広く議論する。ペプチド科学を基盤として、基礎から応用まで幅広い視点から議論を深め、次世代の生命分子科学と創薬研究の新たな展望を共有する場としたい。

### 講演者

- James G. Omichinski（Université de Montréal）
- Jose Isagani B. Janairo（De La Salle University）
- 坂口 和靖（北海道大学）
- 中馬 吉郎（新潟大学）
- 野村 尚生（北海道大学）
- 坂口 達也（長崎大学）
- 崎谷 愛未（武庫川女子大学）
- 黒須 大樹（北海道大学）
- 阿部 一啓（北海道大学）
- 鎌田 瑠泉（長崎大学）
- 浅海 祐也（国立長寿医療研究センター）
- 中川 夏美（北海道大学）
- 入船 佑太（北海道大学）

[連絡先]

北海道大学大学院理学研究院化学部門生物化学研究室  
札幌市北区北10条西8丁目  
TEL: 011-706-2698, FAX: 011-706-4683  
e-mail: [mailto:biochem@sci.hokuda.ac.jp](mailto:mailto:biochem@sci.hokuda.ac.jp)

参加費無料